

沼高 P T A 会報

岩手県立沼宮内高等学校 P T A 事務局

〒028-4398 岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-4 ☎0195-62-2388(職)・62-2334(事) FAX 0195-62-3203

ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/nkn-h/> 印刷 河北印刷株式会社



夢に向かって

P T A 会長

横澤 稔秋

日頃よりP T A活動にご協力いただきまして感謝申しあげます。

平成二十七年度P T A会長を昨年に引き続きお引き受けすることになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度は四十二名の新入生を迎えて、全校生徒一五四名となりました。少子化に伴い沼宮内高校の生徒数も確実に減少してきていますが、生徒が目立っています。

まずホッケー部は男子が全国高校総体に出場します。女子ホッケー部は東北選手権三位となり惜しくも全国大会の切符は逃しましたが、次につながる素晴らしい結果を残しています。文化部においては、将棋部が第三十七回岩手県高等学校将棋大会男子個人戦において、三年林博也君がA級ベスト八、同じく乙茂内湧也君がベスト十六と健闘しています。

高校生活三年間は長いようで短いものです。大切なのは

「どこで学ぶか」ではなく「何を学ぶか」です。子供から大人へと大きく成長する大切な時期であり、また進路選択を迫られる時期であります。

「自分の人生は自分で決める」のが理想です。しかしそのためには高校生としての基本的生活習慣、礼儀作法、基礎学力などをしっかりと身につければなりません。世の中の動きを理解し、コミュニケーションを取れる大人になるためには保護者の皆様の協力が必要です。ぜひ子供たちが世の中の誰かのために生きていける人になれるように積極的に子供たちの教育、進路選択に関わっていきましょう。

六月二十七日のP T A研修は二十七名の参加者があり、仙台キリンビール工場見学、松島五大堂、瑞巌寺の見学でした。今回の研修会には父親の参加が多数あり充実した研修でした。

今後ともP T Aの皆様、地域の皆様のご協力ご支援を賜りますようお願いいたします。





心を育てる

校長
藤澤義昭

保護者の皆様には、常日頃、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

分に発揮し、二～三回戦まで勝ち進みました。

また、今年の前期生徒会のスローガンは『飛躍』、全校生徒による挨拶運動等、全校生

となり高い目標を持って成遂げ、高校生活を充実させてくれることと期待しています。前期中間考査も無事に終わり、生徒たちにとって最も樂しまにしている体育祭が、天候にも恵まれ、六月二十五日・二十六日と行われました。生徒会執行部を中心に体育祭実行委員が積極的に取り組み、クラスが一つにまとまりTシャツを揃え、熱戦が繰り広げられ、三年一組の総合優勝で、無事成功裏に終えることができました。

六月上旬に昨年度の採用のお礼と卒業生の近況を伺うたましました。卒業生十三人全員が元気に仕事に励み、会社の戦力として立派に努めており、会社の方からお褒めの言葉と今年度も是非沼宮内高校から採用をしたいので推薦を受けていただけるようお願いされました。この日は、卒業生に感謝をしとてもうれしい日でした。改めて本校には、素直で真面目な生徒が多く、『心』が素直に成長していると実感しました。

さて、青少年を取り巻く環境は、最近ますます劣悪化しています。例えば、川崎市での中学生殺害、青少年の集団による殺害や暴行等、犯罪が多発しています。少し前では考えられないことがどうして起こるのでしょうか。要因は、色々考えられます。ある学者は、急速な情報化社会により、人間の『心』が、とりわけ若い人の心がバーチャル(仮想)化しつつあるのです。専門用語ではPTKM現象と言いますが、考える力や人間の本来持っている優しい心を弱め、喪失させているということです。Pはパソコン、Tはテレビ、Kは携帯電話、Mはマスコミの頭文字です。現代社会は、PTKMが欠かせないものであることは事実で、情報化が進み、生活が向上し著しく便利になりました。しかし、人は、これら

平成二十七年度も学校が始まり早三ヶ月が経ちました。今年度は、新入生四十二名を迎えて、全校一五四名でスタートをしました。生徒たちは、大きな事故等も無く順調に学生活を送っています。この間、生徒たちのすばらしい活躍がありました。五月に行われたIBC杯ホッケー大会では、男子が第三位、女子が第二位、高総体県大会では、男子が六年連続二十回目の優勝、女子は、残念ながら第二位、東北地区予選会に出場した男子は、見事に優勝し近畿インターハイ出場を決めました。また、東北高等学校ホッケー選手権大会でも男子が優勝、女子は第三位と人數不足の中大健闘をしました。同様に、サッカー部、男女卓球部、剣道部も県大会に出場、自分たちの持っている力を十

さて、青少年を取り巻く環境は、最近ますます劣悪化しています。例えば、川崎市での中学生殺害、青少年の集団による殺害や暴行等、犯罪が多発しています。少し前では考えられないことがどうして起こるのでしょうか。要因は、色々考えられます。ある学者は、急速な情報化社会により、人間の『心』が、とりわけ若い人の心がバーチャル(仮想)化しつつあるのです。専門用語ではPTKM現象と言いますが、考える力や人間の本来持っている優しい心を弱め、喪失させているということです。Pはパソコン、Tはテレビ、Kは携帯電話、Mはマスコミの頭文字です。現代社会は、PTKMが欠かせないものであることは事実で、情報化が進み、生活が向上し著しく便利になりました。しかし、人は、これらの



登校時一声運動

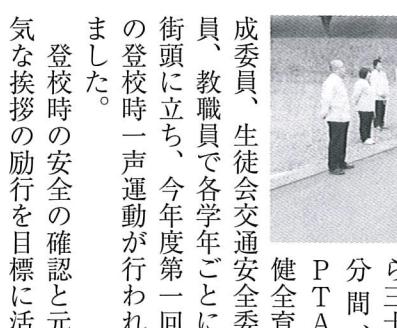


動しました。六月一日から道路交通法が改定され自転車に対する罰則が厳しくなっています。通行区分に従い、ルールを守って安全に登下校するよう周知徹底しました。

朝早くからお忙しい中、ご参加いただきましたPTA健全育成委員の方々には感謝申上げます。



登校時の安全の確認と元気な挨拶の励行を目標に活



動しました。六月一日から道路交通法が改定され自転車に対する罰則が厳しくなっています。通行区分に従い、ルールを守って安全に登下校するよう周知徹底します。



も使用時間やファイルタリング等について話し合いをもつていただければと思います。子供の『心』を育てるのは、家庭であり学校と地域です。今後ともご家庭や地域と連携を密にして、生徒の健全育成に尽力したいと思いますので、保護者の皆様には、今後とも温かいご支援ご協力をお願いします。

PTA研修会

PTA副会長（研修担当）
滝口純子

今年度のPTA研修会が六月二十七日（土）に行われました。例年以上にたくさんの方に参加頂きありがとうございました。キリンビール仙台工場、五大堂、瑞巣寺を見学しました。道中なごやかで、充実した研修会でした。

当日は小雨での出発となりました。東北自動車道を南方へ進むにつれて、小雨から大雨の雨に変わってきました。そんな中バスは目的地である宮城県へ。

まず、はじめに「ビール工場」の見学です。とにかく大きな工場でした。毎日？ビールは嗜みますが、ビールが出来るまでの工程は見たことがありませんでした。麦芽の試食や麦汁の試飲もあります。一番搾り麦汁と二番搾り麦汁を飲んでみて、甘さや風味が全く異なり、おいしさの違いをはつきりと感じることができました。そういううちに・・・ビールの試飲の時間がやつてきました！一人三杯限定で時間制限もあつたため、張り切っていただけきました。ビールマイスターが入れてくれたビールは格別でした。また、自宅でもできるビールのおいしいつぎ方を教えて頂きました。いつか機会があればみなさまにも伝授

したいと思います。

次に向かったのは、松島です。小学校の修学旅行以来？という方もいましたが…。松島へ到着するころには、雨も激しさを増していました。雨の勢いが収まるのを願いながら、海の幸たっぷりの昼食を堪能しました。その後、松島のガイドさんに案内して頂きながら、五大堂と瑞巣寺を拝観しました。瑞巣寺は補修工事中で少し残念ではありま



したが、今度は補修工事が終わった頃にいきたいと思います。最後の散策の時間も、舌鼓を打ったり、女子高生のようにクレープを食べたたりと楽しく過ごすことができました。

あいにくな空模様ではありますましたが、たくさんの方々に参加して頂き、楽しい時間を共有できましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

来年度もまた楽しい企画を立てたいと思いますので、たくさんの方に参加頂きますようお願いいたします。



平成27年度

PTA総会報告

今年度の総会は、三学年P.T.Aと同じ六月二日に開催されました。お忙しい中たくさんの方々の保護者の皆さまに出席頂きましてありがとうございました。総会では昨年度の会務報告、決算報告と今年度の事業計画案、予算案が承認されました。また、功労者として上澤喜代子前監事を表彰することができました。三年間監事としてご尽力頂きありがとうございました。

平成27年度 PTA役員名簿

役職名	氏名	生徒名	委員会名
会長	横澤 稔秋	3-2 稔哉	○健全育成
副会長	田村美智子	1-2 楓子	母親
副会長	滝口 純子	1-2 義貴	○研修
副会長	橋本 唱子	3-1 真鈴	○母親
副会長	菊池 俊昌	(副校長)	○広報
監事(3年)	大石めぐみ	3-2 莉子	
監事(3年)	丹内 牧	3-2 友泉	
監事(2年)	志田さゆり	2-2 健斗	
監事(2年)	遠藤 幸子	2-2 佑雅	
3学年理事	田村 恵	3-1 佑希	研修
2学年理事	民部田和子	2-1 樹	健全育成
1学年理事	田村 仁志	1-2 陸	健全育成
3年	佐藤 悅子	3-1 真彩	母親
学級理事	十和田秋子	3-1 咲	健全育成
2年 学級理事	小橋 祐子	2-1 智也	健全育成
	下平 工ミ	2-1 悠哉	母親
	笈口美枝子	2-2 崇晶	母親
1年 学級理事	遠藤 瞳	1-1 昇流	母親
	大下 工力	1-1 紘人	母親
	佐々木夏子	1-1 芽生	広報
	伊五澤英昭	1-2 颯也	母親
	浮中 孝子	1-2 紗香	健全育成
	山崎千萬喜	1-2 玲奈	研修

8月以降の事業計画

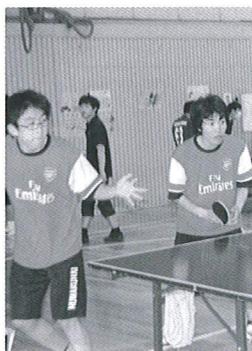
年	月	日	内容
27	8	19(水)~21(金)	第65回全国高P連全国大会
	9	9(水)~10(木)	第2回登校時一声運動
		中旬	母親委員会(沼高祭企画)
	10	16(金)~17(土)	会長研修会
		17(土)~18(日)	沼高祭
		28(水)	第15回母親会員交流会
	11	6(金)	第45回事務局長研修会
		上旬	第14回県北地区合同母親委員会
		下旬	1・2学年PTA
28	2	下旬	第2回PTA理事会
	3	2(水)	卒業式、第2回PTA会報発行

高P連東北大会が七月に青森県、全国大会が八月に岩手県で開催されます。そのため、県内全ての高等学校に動員の依頼がきていて、盛岡を中心とした会場で研究発表や協議会がおこなわれる予定です。本校PTA会員のみなさまもふるつて参加ください。

総会ではPTA活動にご尽力いただいた県内六十五名の功労者に対し、感謝状が授与されました。

協議題はすべて承認されました。研究協議では今年度岩手で開催される高P連の全国大会の取り組みについて、事務局より経緯報告されました。

講演は「宮沢賢治の未来志向」と題し、文芸評論家の吉見正信氏が講話されました。



(2) 男子団体戦予選リーグ戦
 ア 対 盛岡北高 戰 ○ 勝 4敗 1分けで敗退
 イ 対 宮古高校 戰 1勝 4敗で敗退

1回戦 ○ 沼宮内 3—1 × 沼宮内
 2回戦 ○ 盛岡北 3—1
 3回戦 《女子》 ○ 盛岡北 3—1
 4回戦 ○ 澤口 彩輝 (0—1)
 —長谷部 (高専) ○ 久保田 (花南)



卓球

平成27年度高総体卓球競技一戸地区予選

男子シングルス 14名参加
 男子ダブルス 7組参加
 女子シングルス 3名参加
 女子ダブルス 1組参加

○ 宮古 3—0
 × 沼宮内・浄法寺連合

B級	4勝1敗	7位	対 水沢A 1	2—1
3チーム	(佐藤・小細澤・志田)		対 岩手A 3	2—1
54チーム出場			対 盛工B 2	2—1
			対 一関B 2	2—1
			対 市立B 1	0—3
			対 岩手B 4	3—0
			○ ○ × ○ ○	

野球

第62回春季東北地区高等学校野球岩手県大会花巻地区予選

荒木春彦 (3年) 3回戦進出
 畑中 崇 (2年) 3回戦進出
 千葉 凌 (3年) 3回戦進出
 佐々木来依 (1年) 4回戦進出
 宮崎裕輝 (1年) 2回戦進出
 遠藤有悟 (2年) 2回戦進出
 乙茂内湧也 (3年) 2回戦進出

花北青雲 (7回コールド) 2—11
 大迫・前沢・沼宮内連合 4日 (月) 敗者復活戦 2回戦
 0—14
 花巻北 (6回コールド)

将棋部

第37回岩手県高等学校将棋大会

《男子個人戦》 A級 37名出場
 佐々木来依 (1年) 3回戦進出
 田中未来 (1年) 3回戦進出
 遠藤有悟 (2年) 2回戦進出
 宮崎裕輝 (1年) 2回戦進出

乙茂内湧也 3年 林 博也

3年 武田 亜美
 3年 千葉 美幸
 2年 西田 こずえ

※全国41校51チーム中36チーム予選通過

岡市姫神ホール・盛岡劇場で開催予定

短歌
 第10回全国高校生短歌大会
 (短歌甲子園2015)
 出場

4勝1敗	7位	対 水沢A 1	2—1
(佐藤・小細澤・志田)		対 岩手A 3	2—1
54チーム出場		対 盛工B 2	2—1
		対 一関B 2	2—1
		対 市立B 1	0—3
		対 岩手B 4	3—0
		○ ○ × ○ ○	

その他活動の記録

予選リーグ A級 13チーム出場
 対 盛中A 1—2
 × 敗退
 (柴内・乙茂内・林)

《男子団体戦》 A級 13チーム出場
 対 盛中A 1—2
 × 敗退
 (柴内・乙茂内・林)

標語
 平成27年度岩手町健康体力つくり標語
 佳作 2年 阿部 愛海

動かそう 心と体 人と人
 応募総数 1000点中
 入賞15点
 (うち佳作1点入賞)

上級学校訪問

